



考える子
やさしい子
たくましい子

角尾山

〈発行〉西脇市立芳田小学校
兵庫県西脇市落方町 236-3

<https://www.city.nishiwaki.lg.jp/houtaelementaryschool/tayori/index.html>

小学校における性教育

小学校の6年間は、心身の発育・発達の変化の著しい時期です。また、二次性徴の現れや思春期への移行など、心身両面で子どもによって個人差がみられます。そのため、学年や一人ひとりの発育・発達段階を考慮しながら、以下の3つの領域について年間を通じて学び、心身の健全な成長をめざして性教育を行っています。

- ① 生命尊重（心身の発育・発達や健康）
- ② 人間関係の育成（自他を大切にすること、相手と人格を尊重し合うこと）
- ③ 家庭や社会の一員としてのあり方（家庭の役割、病気の予防などの学習から共に生きることの大切さ）

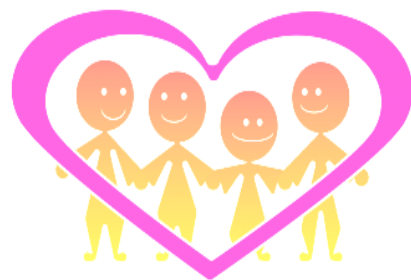
【本年度実施した①生命尊重の学習】

- 1年生 お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんの様子や誕生について知る
- 2年生 男女の体の違いや、「命のつながり」について考える
- 3年生 針であけた穴ほど小さい一つの卵子と3億分の1の精子が会おう「命のはじまり」について知る
- 4年生 思春期にあらわれる大人への体の変化について、個人差があることについて考える
- 5・6年生 助産師さんから生命誕生の様子や出産についての話を聞き、「命の尊さ」について考える

性教育を通して、子どもたちが自他を大切に、豊かな人間関係を築きながら、心身ともに健やかに成長してくれることを願っています。

～ 感想より ～（一部抜粋）

- じぶんのさいしょのへやおかあさんのおなかだったなんておもいませんでした。へそのおってなんだろうっておもったけど、へそのおっていうものでつながっているんだなってわかりました。（1年）
- 体の変化は内面的にもおこることがわかりました。これから自分にどんな変化が起こっても学習したので安心です。（4年）
- 私は自分が知らないことがたくさんあると思いました。赤ちゃんの誕生にはたくさんの人がかかわっているということがわかり、感動しました。助産師さんの話が聞けてよかったです。（5年）



（性教育部）

2月の行事予定

- | | |
|---|---------------------------|
| 1日（月）朝会 | 16日（火）40分授業（1・2年下校 14:00） |
| 3日（水）芳田ふれあい体験教室 | （3～6年下校 15:00） |
| 4日（木）こども貯金 学年費集金 | 18日（木）チャレンジタイム（1～3年） |
| チャレンジタイム（1～3年） | 児童会役員選挙（3～6年） |
| 10日（水）芳田の自然大探検 | 23日（火）天皇誕生日 |
| 11日（木）建国記念の日 | 24日（水）新入生体験入学 |
| 12日（金）入学説明会（新1年生） | 委員会活動 |
|  | 25日（木）チャレンジタイム（1～3年） |

【3年生学級紹介】

しぜんいっぱい わくわく村

「先生！今度の里山はいつ？」「今度は、里山のてっぺんまで行きたいな。」「前、里山に大きな虫がおった！」里山の話になると3年生は、次にやりたいことやこれまでの思い出を楽しそうに話し出します。

本校の児童にとって、とても楽しみにしている活動の1つに、3年生での里山における自然体験活動があります。この取組は、落方町にある里山を使わせていただき、環境体験事業の一環として総合的な学習の時間に実施しています。そして、グリーンサポーターの笹倉涉さんに支援していただいています。

活動は6月から始まり、10月までは基地づくりをしたり、虫探しをしたりしながら、遊びを中心に自然とのふれあいのおもしろさを感じてきました。また、笹倉さんが植物や動物の様子をお話してくださることを楽しみながら自然との共存についての学習を深めました。



12月は、芳田こども園児、1年生、2年生を招待し、「しぜんいっぱい わくわく村まつり」を児童の企画・準備のもと開催しました。ゲームや探検などを工夫し、来てくれたみなさんに楽しんでもらいました。うまくいかずにはどうしようか悩む姿もありましたが、友だちと協力して解決できたとき、とても充実した表情を浮かべていました。この取組により自信を得たのか、学校生活も堂々としてきたように感じています。

里山での活動は残り少なくなりましたが、春支度をする里山とともに活動し、学びを楽しみ、自然のすばらしさをかみしめていきたいと思っています。

防災学習「阪神・淡路大震災から学ぶ」

阪神・淡路大震災から26年が過ぎました。今年度はコロナの影響が大きく、阪神・淡路大震災のときのような地震が起きたら、避難はどうするかといった議論がニュースでもされていました。答えとしてはなかなか出ませんが、過去の教訓を生かすことが大切です。

前年度まで本校では、防災集会をひらき、児童が一同に会して被災された方々へ思いをはせたり、震災の理解を深めたりする機会をもつのですが、感染症拡大防止の都合上、防災集会は実施できませんでした。今年度は、地震を想定した避難訓練と、各学級での防災学習を行いました。1・2年生は校内で地震が起きたときの避難の仕方について、3・4年生は校内、校外、自宅などで起こる災害について、5・6年生は地震が起きた直後に自分ができることについて学習しました。給食では昨年度からはじまっている防災給食を食べました。例年通りとはいきませんでした。児童にとって震災についてじっくり考える機会となりました。

この角尾山でのお知らせのときはすでに2月ですが、ご家庭でも今一度、様々なことを想定して、防災について考えてみてはいかがでしょうか。



2月 スクールカウンセラー来校日

(火曜日 原則13時~17時) <予定>…2/9

学校でのお子さんの様子について、ご家庭でのかかわり方などについて、お悩みや疑問の解決に向けたお手伝いをさせていただきます。小さなことでも結構です。どうぞお気軽にお越しください。 永浦

